

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

106

観光イベント事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光イベント事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	和歌山市において様々なイベントを展開し、県内外からの観光客誘致を図ることに加え、市民の郷土愛醸成を目指す。		和歌山市において様々なイベントを展開し、県内外からの観光客誘致を図る。またイベントにおいては、市民間で価値観を共有するためのコンセプトやテーマを設定するなど、若い世代にも浸透する仕掛けを施す。			
事業内容		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
		紀州おどりの開催、和歌祭の開催	紀州おどりの開催、和歌祭の開催	紀州おどりの開催、和歌祭の開催	紀州おどりの開催、和歌祭の開催	紀州おどりの開催、和歌祭の開催

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	21,523	6,769	21,523	16,171	24,559	18,560	19,134	0	19,134	0	
伸び率(%)	△1%	△68.6%	0%	138.9%	14.1%	14.8%	△22.1%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	15,447	14,730	14,351	15,049	13,762	13,463	13,837	0	13,837	0
	正規職員以外	517	517	1,489	1,489	1,489	1,489	1,489	0	1,489	0
	小計	15,964	15,247	15,840	16,538	15,251	14,952	15,326	0	15,326	0
国庫支出金	10,761	3,385	10,761	8,082	12,279	9,280	9,567	0	9,567	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	10,762	3,384	10,762	8,089	12,280	9,280	9,567	0	9,567	0	
所要人数(人)	正規職員	1.94	1.85	1.85	1.94	1.84	1.80	1.85	0.00	1.85	0.00
	正規職員以外	0.28	0.28	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.00	0.29	0.00
主な予算内訳	紀州おどり開催交付金 10,700千円 和歌祭開催交付金 8,434千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和02年度					令和03年度					令和04年度					令和05年度					令和06年度				
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値	達成度(%)				
イベント開催数		件	目標値	2			2			2			2			2			2			2					
			実績値	0			1			1																	
			達成度(%)	0%			50%			50%				%			%						%				
観客動員数		人	目標値	200,000			200,000			200,000			200,000			200,000			200,000			200,000					
			実績値	0			30,000			50,000																	
			達成度(%)	0%			15%			25%				%			%						%				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	イベントの支援を行うとともに事前の告知、広告活動等を適切に実施することで、市外（県外）からの観光客誘致に取り組んでいく。
見直し・改善内容	紀州おどりについては、年々祭りに参加する人が少なくなっているのが現状である。 今後は県外へのPRに加え、市民の郷土愛醸成にも取組み、市民が誇る伝統的な祭りとして若い世代へ継承し、国内外へアピールしていく。